

第 34 回 ふれあいもりやま展 受賞作品 【詩の部】

学校名・学年は 2025 年2月現在



玉津小学校2年
もりぐち のあさん
森口 乃愛さん

「うれしい言ば」

名前 木木口

のあ

大すきと言われると
え顔になる
すごいねと言われると
もっとうがねばる
がんばっているねと言われると
ゆう気が出る
やさしいねと言われると
気分がよくなる
またあそぼうと言われると
え顔になる
だいじょうぶと言われると
やる気が出る
わたしは、うれしい言ばをも、とあつめて人に
いう



同じでもいいちがってもいい
ほかの人をからかうのは人を大切にしないことだから
ちがっていったからかわない
人の心はかんたんに
きずつくから
みんなとちがっていった
自分のこともいいと思えて
ちがっていったっていいんだよ
だって全部同じ人なんて
いないから
みんなも自分もちがっていい
ちがいがあってもいいんだよ

お谷 あや名



中洲小学校3年

おたに あやなさん
尾谷 彩名さん



「言葉は魔法」

言葉は魔法

慰めることも

癒やすこともできる

けれど悲しくさせることも

傷つけることもできてしまう

言葉ひとつで変えてしまう

友情や信頼

友達の心も自分の心も大切な家族の心も

大声で話すこと小さな声で話すこと

いろいろな話し方ができる

慰めるには小さな声で

発表するときは普通の声で

言葉の魔法で楽しくなる

傷つく魔法は使わない

人生が豊かになる魔法を使う

言葉の魔法を使おう

慰めることも癒やすこともできる魔法を

足立結佳

玉津小学校5年

あだち ゆいか
足立 結佳さん

銀



玉津小学校2年
おだ たいしろう
和田 泰志郎さん

銀

一人一つの命

おもてめは

一人一つの命を大切に

命は一つしか

ないから大切に、

みんなの命

自分の命を

大切に、

みんなのことを

助け合ひ

守り合ひ

みんなで

命を守ろう、



玉津小学校3年

おもと 優芽羽さん

銀

題名 みんなで安心してすごせる名前だねのえいすけ
学校 ぐくり
ぼくは、人はたてで、
校がぐくりたつて考えました。
「おはよう」と言。たら「おはよう」て返
してくる
に「つてわらったらにこって返してくる
それってとってもうれしいな
ごま。ていたらたいじようがと聞いて
くれる
一人でいたうつり。しよにあえほいとえ
てくれる
それってと。てもホッとする
そんね毎日た。たら幸せだな

20×20

守山小学校3年

たねの 瑛友さん

銀

その前に

石田美史

いやだ いやだ
もういやだ

そんな言葉を使うまえに
もんごくなってしまいうまえに
絶対絶対相談して

いいの いいの
それいいの

ぶり上げた手を下ろす前に
とかた言葉が出てくる前に

一度ちゃんと考えよう。

苦しみのなみだをながす前に
悲しみのなみだをながさせる前に
人権について考えよう

守山小学校6年

いしだ みふみ
石田 美史さん

笑顔

笑顔は人を笑顔にさせる

笑顔は人の心を気持ちよくさせる

笑顔でいいクラスになる

笑顔は温かい

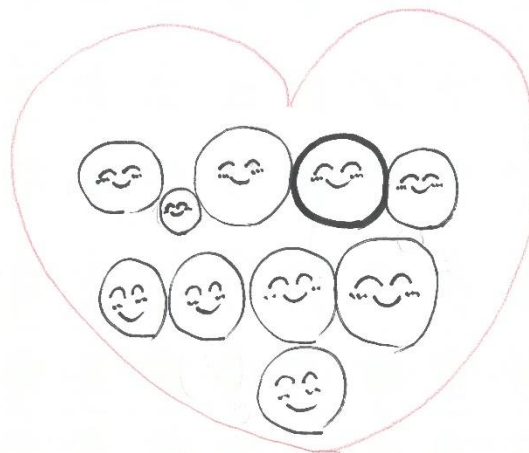
笑顔は元気のあかし

笑顔でみんな喜ぶ

だから私は笑顔を大切にしたい

田中星愛

銀



速野小学校5年

たなか せあ
田中 星愛さん

銀

木村 華さん